

第13回全日本女子フットサル選手権大会 栃木県予選
兼 第17回栃木県女子フットサル大会

1. 名 称

第13回全日本女子フットサル選手権大会栃木県予選兼第17回栃木県女子フットサル大会

2. 主 催

(社)栃木県サッカー協会

3. 主 管

(社)栃木県サッカー協会フットサル委員会 栃木県フットサル連盟

4. 協 賛

(株)ペナルティ (調整中)

5. 期 日

平成28年7月31日(日)、8月7日(日)

6. 会 場

真岡スポーツ交流館 清原体育館

7. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、日本協会)に「フットサル1種」、「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録を行った単独チームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他のクラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、「移籍登録なし」に参加させることができる。
- ② 前項のチームに所属する2004年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

- ① 日本協会に「2種」、「3種」、または「女子」の種別で加盟登録を行った単独チームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他のクラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、「移籍登録なし」に参加させることができる。
- ② 前項のチームに所属する2004年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(3) 選手は、都道府県大会、地域大会を通して、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手及び役員は、本大会1チームにのみ登録することができ、他の都道府県の同大会を含め、複数のチームでの登録および試合出場はできない。

(5) チーム代表者は20歳以上であり、チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。但し、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

(6) 1チームあたり3~20名とし、過半数が県内在住または在勤・在学者により構成されたチームであること。

(7) 登録選手は傷害保険(スポーツ安全障害保険)に加入していること。

8. 代表資格

優勝チームは、第13回全日本女子フットサル選手権大会関東大会に県代表として大会に県代表として出場する義務を負う。

平成28年9月26日（土）・27日（日） 埼玉：ウイングハット春日部

9. 大会形式

- ① 1次ラウンド及び決勝ラウンド方式とする。不戦勝は3-0とする。
- ② 前年度上位チームをシードする。但し、参加チーム数による。
- ③ 1次ラウンドにおける順位決定方法
順位は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引き分け2、負け0とする。但し、勝点の合計が同一の場合は以下のとおりとする。
 - 1) 当該チーム間の対戦成績
 - 2) 当該チームの対戦結果の得失点差
 - 3) 当該チームの対戦結果の総得点
 - 4) リーグ全体の総得失点差
 - 5) リーグ全体の総得点
 - 6) 下記に基づく警告・退場ポイントがより少ないチーム
 - i イエローカード1枚 1ポイント
 - ii イエローカード2枚によるレッドカード1枚 3ポイント
 - iii レッドカード1枚 3ポイント
 - iv イエローカード1枚に続くレッドカード1枚 4ポイント
 - 7) 抽選

10. 競技規則

大会実施年度の『フットサル競技規則』による。

11. 競技会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) ピッチ：原則として、40m×20mとする。（会場による）
- (2) ボール：試合球：公認の4号球
- (3) 競技者の数：選手の数5名 交代要員の数9名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (4) チーム役員の数：6名以内（ただし、ベンチに入れるのは5名以内）
- (5) 競技者の用具

① ユニフォーム

- ア) FP, GKともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には、正副ともに必ず携帯すること。
- イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒と明確に判別し得るものであること。
- ウ) FPとして試合に登録された選手がGKに代わる場合、その試合でGKが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
ただし、けがや退場処分など突発的な、やむを得ない状況で、ゴールキーパーが不在となった場合に限り、主審の判断でゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで

代用することができる。

エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はGKがつけることとする。必ず、本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

カ) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担すること。

キ) その他、ユニフォームに関する事項については、本協会のユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に則る。ただし、今回の規定で追加・変更となった内容のうち、以下は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条（ユニフォームへの表示）※該当のみ抜粋

- ・ GKグローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
- ・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅（10cmから8cmに変更）
- ・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離

ク) オリジナルユニフォームでの参加を原則とし、各国の代表チームやプロチームのレプリカでの出場は不可とする。

ケ) チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に示すアームバンド（キャプテンマーク）を着用してもよい。

② シューズ：キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でできており、フットサルシューズ、トレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみのももの。尚、靴底の接地面は凹凸がなく、アメ色または透明・白色のものとする。ピッチ面を傷つけたり、着色するおそれのあるシューズは認められない。

③ ビブスは：交代要員は競技者と異なる色のビブスを用意し、借用しなければならない。（ユニフォームのシャツと異なる2色のビブスを準備・携行しなければならない。）

(6) 競技時間：1次ラウンド：24分間（前後半各12分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。（前半終了から後半開始まで）

※ 1次ラウンドについては参加チーム数により試合時間の変更あり。

決勝ラウンド：30分間（前後半各15分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

① 1次ラウンド：引き分け

② 決勝ラウンド：PK方式（3人制）により勝敗を決定する。PK方式にナイル前のインターバルは1分間とする。

③ 決勝：6分（3分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない時にはPK方式により勝者を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) ベンチ着席できる人数は、フットサル大会登録票によりあらかじめ登録され、試合前に提出し

たメンバー票に記載された交代要員9名・役員5名を含め14名を上限とする。

選手及び役員を兼任する場合は、ベンチ入り人数において選手・役員双方に記入するものとする。また、役員が5名を超えない場合に限り、試合に出場しない登録選手を役員として試合登録役員としてベンチ入りを認める。なお、この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装とする。

(9) 試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、大会登録選手で出場資格を有すると確認されている選手が、試合開始時に不在の場合は、以下のとおりとする。

i 前半キックオフ後、後半キックオフ前にピッチに到着した場合

前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。

ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると、後半開始時より試合に出場できる。

ii 後半キックオフ後、ピッチに到着した場合

試合に出場できず、ベンチに入ることもできない。

(10) 試合中の飲料は水飲みとし、指定した場所でのみ飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。

12. 懲 罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(2) 本大会期間中の警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(3) 前項により出場停止処分を受けたとき、一次ラウンド終了時点で警告の累積が1回の時、または本大会の終了の時に、警告累積は消滅する。

(4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、関東予選を懲罰規定上の同一競技会とみなし、順次消化するものとする。関東予選に出場しない場合は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は県協会フットサル委員会の委員長とする。

13. 参加申込み

(1) 1チームあたり26名(選手20名、役員6名)を上限とする。

(2) 別添の下記の書類①②をダウンロードし、申し込むこと。

① 登録票・参加申込書(申込み締め切り日までに、宮川宛メールすること)

xxsqg509@yahoo.co.jp (半角で入力)

② 大会参加費納入報告書 振込み明細書のコピーを添付すること。

申込み締め切り日までに納入すること。

③ ユニフォーム広告掲示(回答)の写し(ユニフォームに広告等がある場合)

※ ② ③ は監督会議に持参すること。

(3) 申込締切日：平成28年7月10日(日)

(4) 前項の申込み締切日以降の参加申込み内容の変更は認めない。

14. 代表者会議

(1) 日 時 平成28年7月17日(日)午後2時から

(2) 場 所 宇都宮市スケートセンター 会議室

※代表者会議に無断欠席をした場合、不参加扱いとする。

15. 参加費

大会参加費：25,000円

振込先口座：足利銀行 一条町支店 普通 3298034

公益社団法人栃木県サッカー協会（一般） 代表理事 石崎 忠利

※ 必ず「チーム名」を明記して、申込み締め切り日までに振込のこと。

16. 電子選手証

各チームの登録選手は、日本協会発行の電子登録票の写し（写真が登録されたもの）または選手証（写真が添付されたもの）を試合会場に持参すること。電子選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

17. その他

- ① 試合日程は栃木県フットサル委員会内で協議し決定する。
- ② 参加チームは、栃木県フットサル委員会において特別な事情がある場合、日程等の変更に応じなければならない。
- ③ 大会要項に違反し、その他、不都合な行為のあった個人またはチームは出場を停止する。勝ち点を剥奪する場合もある。
- ④ 傷病手当てについては、救急車の手配は行うが、その後の処置はチームの責任において対応すること。
- ⑤ ごみはすべて各チームで持ち帰ること。また喫煙は指定された場以外ではしないこと。土足も厳禁とする。
- ⑥ 指定された場所以外では、ボールを使っての練習は禁止する。
- ⑦ 会場準備及び会場の片づけについては、大会事務局の指示に従い参加チームで行うこと。
- ⑧ 本協会および大会関係者は、参加者の負傷、傷病、障害及び会場の備品破損に対しては一切の責任を負わないものとする。（チームの責任で処理をすること。）
- ⑨ 参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。

大会担当者 （社）栃木県サッカー協会

フットサル委員長 宮川 進

Tel 090-3318-6844

E-mail xxsqg509@yahoo.co.jp